

公明ひらつか



持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けて

伊東 尚美 議員

■ 予算編成方針から

問 総合計画の着実な推進に向け、持続可能な開発目標であるSDGsの考え方

市長 来年度の総合計画の見直しを通じて、しかるべき位置付けを考えていく。

問 民間活力の積極的活用について、市民意見を反映させる平塚方式を進めるとしているが具体的に何う。

市長 パブリックコメントや説明会に加え、市民との対話を行う。事業への理解を深める機会を増やし、意見を事業に生かすことなどに取り組んでいく。

■ 待機児童ゼロへ

問 市長は2020年4月までに待機児童をゼロにする」と発表した。0歳児から2歳児の入所の受け皿となる施設整備の今後を何う。

市長 低年齢児対象の小規模保育事業を実施することとし、4月の開所に向けた準備をしている。今後も民間事業者による施設整備への支援を進め、保育の質と受け皿確保の両立を図る。

問 保育士確保策のこれまでの成果と課題を何う。

市長 最大100万円の就職支援付金制度や最大36万円が得られる就労支援交付金制度を創設した。より

■ 女性の健康支援

問 乳がんが罹患する若い女性が増えていることを踏まえ、日常のセルフチェックが重要であると思う。その啓発の取り組みを何う。

市長 検診やイベントなどでセルフチェックシートを配布し啓発している。今後はホームページなどによる乳がんのリスクや自己触診の情報発信を検討する。

問 生涯にわたる女性への健康支援として、相談窓口の設置をどうするか。

市長 保健センターでは窓口などで幅広く健康問題に対応している。女性はホルモンの変化からきめ細やかな体調管理が必要となる。今後はあらゆる世代の女性が利用しやすいよう窓口の案内表示を工夫し、ホームページなどでも紹介する。

■ 学校トイレの洋式化

問 小・中学校のトイレの現在の洋式化率を何う。

学校教育部長 今年度は江陽中学校、山城中学校の改修を行い、44%となった。

問 大規模改修工事と併せてトイレの改修を進めるだけでなく、早期に実現する

工夫が必要ではないか。教育長 今後は補助金などを活用し、トイレ整備に特化した事業を計画する。洋式化のほか床や壁、天井を新しくし、バリアフリー化や照度アップなども考慮したトイレ空間全体の快適性向上への改修を進める。

■ 教職員の働き方改革

問 教職員の長時間労働を減らす取り組みを何う。

教育長 学校事務連携支援室の設置や校務支援システムの導入などしてきた。また、部活動の在り方や給食費の公会計化も検討している。今後もさまざまな面から業務改善を検討する。

2020オリパラの取組と今後について



2020オリパラを基にスポーツ功労者の記録と顕彰を

鈴木 晴男 議員

問 ホストタウンとしてリトアニア共和国を迎え入れる。2020年以降も含めた期待する成果を何う。

オリンピック・パラリンピック推進担当部長 リトアニア共和国の事前キャンプの受け入れを成功させ、2020年以降も息の長い交流を継続し、地域活性化を図りたい。

地区防災計画とまるごとまちごとハザードマップについて

問 「まるごとまちごとハザードマップ」の実施を早くしたい。

地区防災計画担当部長 なく気遣いが非常に大事である。研修などを通してユニバーサルマナーの心を職員や市民全体に伝えていきたい。

問 本市にゆかりのある選手の国際大会などにおける記録を残していないのか。社会教育部長 全てではないが、ある程度把握はしている状況である。

教育長 学校事務連携支援室の設置や校務支援システムの導入などしてきた。

また、部活動の在り方や給食費の公会計化も検討している。今後もさまざまな面から業務改善を検討する。

問 教員の業務を補助するスクールサポートスタッフの配置への考えを何う。

教育長 負担軽減のためにはこのような人的支援が不可欠なので、今後も県教育委員会に強く要望する。

▼このほかの質問 時代の変化に対応した学びの推進

問 幼稚園・保育園、小・中学校へのMTBIの予防啓発に関する見解を何う。

教育指導担当部長 MTBIの主な原因は、交通事故やスポーツ外傷、転落、転倒、暴力などで頭部に衝撃が与えられること、衝撃が軽度でCT検査などに異常がない場合でも、数日から数週間経って症状が現れることもあることを校長会などで周知する。MTBIの認知度は高くないので、まずは、しっかり周知することとで予防につながると考えている。他の自治体ではパンフレットを作成しているので、今後の取り組みの参考にしていきたい。

持続可能な地域共生社会の実現を



秋澤 雅久 議員

問 本市が策定する地域福祉リーディングプランは、国の目指す地域共生社会構築の方向性と符合するか。

福祉部長 地域福祉リーディングプランでは、全ての人が相互に支え合い、一人一人が輝き、力を発揮することができるよう、地域

急に進めるべきではないか。防災危機管理部長 まずは津波に対する避難誘導の標識の設置を進めたい。その後、指摘のあった洪水に対する浸水深などの情報表示を進めていきたい。

MTBI（軽度外傷性脳損傷）予防の啓発について

問 幼稚園・保育園、小・中学校へのMTBIの予防啓発に関する見解を何う。

教育指導担当部長 MTBIの主な原因は、交通事故やスポーツ外傷、転落、転倒、暴力などで頭部に衝撃が与えられること、衝撃が軽度でCT検査などに異常がない場合でも、数日から数週間経って症状が現れることもあることを校長会などで周知する。MTBIの認知度は高くないので、まずは、しっかり周知することとで予防につながると考えている。他の自治体ではパンフレットを作成している

ので、今後の取り組みの参考にしていきたい。

問 地域共生社会とは、市民との協働による福祉の地域づくり、まちづくりであると捉えている。自治基本条例では協働ということを全面に出している。子供版の自治基本条例の手引きは活用されているか。

企画政策部長 平成28年度から配布を休止している。今後は教育委員会と調整をしながら、必要性を含めてより良い周知啓発の在り方を研究していきたい。

公明ひらつか 所属議員



小笠原 千恵美 議員



永田 美典 議員

その人らしく生き生きと豊かで自立した生活を送る。このような社会をつくるために備えるべき地域の力を地域共生力としている。

問 市民の福祉活動参加を促す福祉教育についての基本的な考え方を何う。

福祉部長 市民を対象とした福祉学習の機会を増やすとともに、学校などにおける福祉教育へ保護者の参加を促す。また、社会福祉協議会と連携し、福祉教育に取り組み学校への助成や地域団体と連携した福祉学習の開催などを推進する。

問 地域共生社会とは、市民との協働による福祉の地域づくり、まちづくりであると捉えている。自治基本条例では協働ということを全面に出している。子供版の自治基本条例の手引きは活用されているか。

企画政策部長 平成28年度から配布を休止している。今後は教育委員会と調整をしながら、必要性を含めてより良い周知啓発の在り方を研究していきたい。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

環境厚生

議案4案件は全て原案どおり可決又は承認すべきもの、請願2件は全て継続審査と決定しました。

○議案第89号 平成30年度平塚市一般会計補正予算

問 国民年金費の国民年金事業では、国民年金システムの改修を行うため増額補正をするが、どのような改修を行うのか。

答 マイナンバーに対応した保険料免除申請書をシステムから打ち出せるようにする。また、産前産

後期間の保険料免除制度に対応できるように必要な改修を行う。

問 保健衛生総務費の公衆浴場支援事業では、公衆浴場設備整備費補助金を計上しているが、今回の補助内容を何う。

答 公衆浴場の内装の塗装修繕で、補助対象限度額40万円の4分の1となる10万円を補助する。

問 どのようなものに使える補助金なのか。

答 内装設備や外装設備、給湯設備に関する補助で、項目ごとに補助対象限度額を定めている。

教育民生

議案5案件は全て原案どおり可決又は承認すべきものと決定しました。

○議案第86~88号 指定管理者の指定について(これら3案件については一括審査を行った)

問 この3案件は、平成31年度から5年間の指定管理の指定を行うという提案である。仮に、事業者の都合により途中でやめた、放棄したという場合はどう対応するのか。違約条項などはあるのか。

答 現在検討中で、今年度中には指定管理の手引きなどを改訂して本市としての対応を決めたい。

○議案第89号 平成30年度平塚市一般会計補正予算

問 学校給食費の共同調理場運営事業では、老朽化した調理用備品を更新するため増額補正するが、その内容を何う。

答 調理用備品は連続焼物機で、購入から16年が経過し、経年劣化が進んでいることや、メーカーから修繕ができない場合があると言われたことから新たに購入する。